

労働力需給調整と日系中国人

中国残留邦人等の親族で日本国籍を有しない者が「日本人の配偶者等」及び「定住者」として在留資格を付与され、これらの資格を得た者が毎年来日し、その人数は確実に増加している。

本研究は、こうした状況を踏まえ、中国帰国者の生活支援・定着センター修了者のフォロー・就職上の問題点等就職に至るための諸事情を整理するとともに、その本人及び家族からのヒアリング調査を行い、定着するまでの現状と問題点を明らかにした。

研究委員会メンバー

(主 査)依 光 正 哲	一橋大学 教授
(委 員)佐 野 哲	日本労働研究機構 研究員
(事務局)中 島 徹	(財)雇用開発センター 常務理事
川 上 方 満	(財)雇用開発センター 研究調査部長

目 次

はじめに

第 1 章 中国残留孤児・中国残留婦人問題

第 2 章 残留孤児・残留婦人の帰国問題

第 3 章 中国帰国者への支援と生活実態

第 4 章 中国帰国者の就労問題

第 5 章 インタビュー調査から見た残留帰国者の雇用労働問題

インタビュー調査の対象及び内容

調査時期 : 平成 10 年 8 ~ 10 月

調査対象 : 中華人民共和国からの帰国者で、現在職を持っている人、7 人

調査内容 : 就職に至るまでの諸事情、就業上の問題点等